TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

信仰から繁栄へ　コロサイ人への基本事項：平和にチャンスを与える

コロサイの信徒への手紙1章15～20節

2024年3月23日 & 24日
ジェシー・マーク・セザリオ　牧師

ご挨拶

TBC ウエスト・トウキョウ、TBC 三郷、福岡インターナショナル教会、スババプテスト教会、トンガバプテスト教会をはじめ、共に礼拝をささげておられるすべての方々にご挨拶申し上げます。今日も神の恵みがありますように。

コロサイの信徒への手紙 1 章 15-20 節

「[15] 御子は、見えない神のかたちであり　すべてのものが造られる前に　最初に生まれた方です。[16] 天にあるものも地にあるものも　見えるものも見えないものも　王座も主権も　支配も権威も　万物は御子において造られたからです。 万物は御子によって、御子のために造られたのです。[17] 御子は万物よりも先におられ　万物は御子にあって成り立っています。[18] また、御子はその体である教会の頭です。 御子は初めの者　死者の中から最初に生まれた方です。それは、ご自身がすべてにおいて　第一の者となるためです。[19] 神は、御心のままに　満ち溢れるものを　余すところなく御子の内に宿らせ [20] その十字架の血によって平和を造り　地にあるものも　天にあるものも　万物を御子によって　ご自分と和解させてくださったのです。」

順を追って引用していきますが、始める前に祈りましょう。

はじめに

今日の聖句の背後に多くの教義があることは承知しています。無限の説教ができるほどあります。これらの聖句は神と共におられる永遠の聖なる神の御子、イエス・キリストについてのものだからです。
私はこれらの聖句を一行一行、一語一語、メッセージからメッセージへと進んでいくこともできます。しかし、そうするつもりはありません。パウロは繰り返し述べてはいますが、それを書くときに一つひとつの言葉を明確にしたわけではありません。そうしないのには理由がありました。彼には到達すべき「重要なポイント」があったのです。

そこで、パウロが伝えようとしていることの全体像を見逃さないように、本文の大部分を見ていきます。パウロは聖霊に導かれて、書いた言葉の一つ一つがちょうどいい量を語ったと思います。

パウロは、イエス・キリストのいわゆる卓越性における神性を擁護し、宣言しています。イエスというお方が最高位、すべてのものの上におられると。パウロはこのことを語っているだけでなく、どうしてそうなったのかを説明しています。

初期のクリスチャンたちは、イエスを知っている人やイエスに会った人を知っていました。少なくとも彼らがまだ生きている間に、イエスが地上におられたことを聞いたはずです。

わたしたちには想像しにくいかもしれませんが、最近亡くなった、驚くべきことを行い、その証拠を見ることができるような人のことを考えてみてください。ですから、目に見えない神の似姿であるイエス・キリストの人間性を心から信じることは大切です。

例えばスティーブ・ジョブズですが、彼は神ではなく…ある人達にとってはそうかもしれませんが…彼はただのアップルの共同創業者で元 CEO です。スティーブ・ジョブズが誰であるか、皆さんはご存知でしょう。人々は彼のビジネススキルと、彼が生み出した製品によってその天才性に驚きました。もし彼が集会を行ったらと想像してみてください。特にアップル愛好家の間では大いに盛り上がったことでしょう。彼の人気は今だに続いています。彼についてのいくつかの伝記、子供の本、彼を題材にした映画も作られました。皆さんも聞いたことがあるでしょう？

今もし、ヘンリー・フォードの話をすると、興奮度は低くなります。つながりが感じられないのです。彼はあまりにも過去の人だからです。

初期のキリスト教徒にとって、救世主については、なおさらのことでした。彼の救世主がまさにそこにいたのです！救世主について語るこのパウロの手紙、今日私たちがまさに目にするこれらの言葉は、彼らにとってとても貴重なものだったに違いありません。ダビデさえも詩篇 27:4 で宣言したように、彼も主の美しさを見つめたかったのです。そして遂にイエスが来られたとき、人々はそのチャンスを得たのです。

少し考えてみましょう。パウロはイエスについて書いています。ちょうど地中海の向かい側で、彼らの時代を生きた男、彼は単なる人間ではなく、神でもありました。広まっていた話を他の人に伝えたいという人々の願望、そして神について宣べ伝えるために必要なことは何でも喜んで行うという彼らの気持ちは、とても生き生きとしていて、熱心で、力に満ちていました。

そして今日の私の祈りは、私たちがイエスを見つめ、イエスが誰で何をされたのか、またこれから何をされるのか、2024 年に今日のメッセージから神の言葉を通して理解できるようになることです。

神の言葉は神の子であり、霊的領域の玉座に物理的に座っています。そして彼は今、私たちの空間、私たちの時間、私たちの現実の中で生きて活動しておられ、今日の私たちの人生を力強く変える権威を持っておられるのです。

これは、私たちへの贖いを通して神による、神からの希望のメッセージであり、これこそがパウロがコロサイの教会に語っていることなのです。

構造

コロサイ 1:13-14 で、パウロは 15-20 節でこれから説明する内容を紹介しています。
これらは、今日のメッセージで私たちが理解しなければならない 2 つの最初のポイントを示しています。最初に13節で、パウロは神の王国の王としてのイエスの権威について語っています。そして 14 節では私たちが御子の王国に入るにはどうしたらよいか、私たちの立場を説明しています。

「[13] 御父は、私たちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下へと移してくださいました。[14] 私たちはこの御子において、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。」(コロサイ 1:13-14)

コロサイ人に対するパウロの関心は、イエス・キリストがどんな人であるかを彼らに知ってもらいたいということです。特に当時彼らが持っていた大衆文化、つまり当時のグノーシス主義の「目覚めた」傾向に反対していました。

グノーシス主義は混合主義の変形でした。定義されていない精神性のカオス。現代社会を思い起こします。そして強調点とその世界観は主にスピリチュアルなものでした。つまり目に見えないものです。だから一部のグノーシス主義者はイエスが人間ではなく霊魂であると考えました。またある者たちは、イエスは神ではなく、霊に満たされた人間だと考えました。そして、ある人たちはその間のすべてと考えました。

2024 年の私たちにとって、それは反転し、科学的で目に見えるものに重点が置かれています。これが科学主義であり、科学によって証明可能なものだけが現実であるという考え方です。

そしてこれが、私たちが今いる地球全体の規定の見方なのです。すべての大陸が一致団結し科学主義を受け入れています。科学に問題はないのですが、科学主義には大きな問題があります。それは科学が神に取って代わり、事実上科学崇拝になっているのです。

世界の大半の人々は、科学とテクノロジーがすべてを解決し、私たちに平和と救いをもたらしてくれることを願っていることを認めなければなりません。

科学主義は彼らの規定の現実世界観であり、基本的にすべてを原子に分解します。これは目に見えない粒子です。

しかし、聖書は言っています。

神なるお方

「[15] 御子は、見えない神のかたちであり すべてのものが造られる前に 最初に生まれた方です。[16] 天にあるものも地にあるものも 見えるものも見えないものも 王座も主権も 支配も権威も 万物は御子

において造られたからです。 万物は御子によって、御子のために造られたのです。[17] 御子は万物よりも先におられ 万物は御子にあって成り立っています。[18] また、御子はその体である教会の頭です。 御子は初めの者 死者の中から最初に生まれた方です。それは、ご自身がすべてにおいて 第一の者となるためです。」(コロサイ 1:15-18)

これは、聖書全体の中で、**ヨハネによる福音書１章**に次いで、イエス・キリストがどのようなお方であるかについて最も明確に述べている箇所です。

「[1] 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。[2] この言は、初めに神と共にあった。[3] 万物は言によって成った。」(ヨハネ 1:1-3)

さて、パウロが御子は初めの者であると言っているのを混同しないでください。つまり、御子は創造の一環として生まれたという意味です。イエスは創造されたものではありません。時々、人々はこの概念がいかに真実ではないかを示すために他の聖句を使用します。

しかし、どの聖句も引用する必要はありません。イエスはすべての被造物を超えた長子であったと書かれています。それはすでに、彼が創造物の一部ではなかったことを意味します。しかし、彼は昔も今も、そしてこれからも父なる神とその創造物との間に存在する力であるということです。

もし彼が創造されたとしたら、彼は創造物を超えたり超越したりするのではなく、むしろ被造物の中にいることになるでしょう。明らかにこれは正確ではありません。 彼は被造物の代理人です。 したがって、ここでの用語は、すべてを超越しているという彼の立場を示しています。

創世記 1:3 「神は言われた。「光あれ。」すると光があった。」

言葉とは何でしょうか？
言葉は目に見えないものを表現するものです。私たちが見ているものすべて、神が御言葉を通してご自身の計画を現実へと創造したものです。それは御言葉であるイエスを通して、宇宙全体が、御父の心と想いによって誕生したのです。
そしてその最初のクリスマスの朝、御言葉、神が私たちの中に住まわれました。肉体をもって創造されたのです。
しかし、神性が肉体に宿ることで、神性の霊と肉体がどのように共存できるのかという問題が生じます。そこでパウロは、彼は目に見えない神の御姿であると説明しています。

「いまだかつて、神を見た者はいない。父の懐にいる独り子である神、この方が神を示されたのである。」(ヨハネ 1:18)

ヨハネは、この神の御姿がどのようにして現れたかについて、重要な詳細を述べています。それは、父の宣言によってなされたことに注意してください。
宣言とはどのようにするのでしょうか？　そう、告げるのです。

神の言葉は私たちに神を宣言し、神を明らかにしました。これにより私たちは「神である言葉」を見ることができます。つまり神は事実上、「私を存在させよ！」と言われたのです。そして無限の者が有限となりました。

ですから、私たちにとっても混乱するかもしれないこのことに戸惑っているフィリポに対して、イエスはこう宣言されました。とてもシンプルに**「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、私が分かっていないのか。私を見た者は、父を見たのだ。」(ヨハネ 14:09)**

知っておくべきことはこれだけです。
つまり、イエスは天地創造の前にも、天地創造のときにも、天地創造のためにそこにおられたのです。なぜなら、イエスと御父は一つだからです。
なぜでしょう？

イエスが本当に何なのかについて、理解することの何が重要なのか、疑問に思われるかもしれません。それを理解するには、自分の周りの世界をよく見なければなりません。あなたはこの世に生きているだけでなく、あなたも、そしてすべての人間も、この世の塵から造られているのです。

この世では、物事がうまくいかないことがよくあります。

人々は私たちを傷つける。利用される。孤独になる。笑われる。物を盗まれる。その上、病気になったり、落ち込んだり、体が痛んだり、精神的な問題を抱えたり、あるいはただ思うように仕事ができなかったりします。

しかし、それは私たちだけでなく、私たちの愛する人たち妻、夫、子供、そして両親にも起こります。私たちの周りで起きることなのです。

それに加えて、経済的な問題、やりくりすること、食べ物や水、衣服の不足もあります。そのうえ、結婚、離婚、犯罪、法律問題、戦争もあります。それでも足りなければ、嵐、地震、飢饉、洪水、津波もあります。そしてついに私たちは年をとり、その後行くべき場所はただ一つ、墓場だけです。私たちは友人や愛する人たちに悲しみを残していくのです。

まだ終わりではありません。その間、私たちは慰めを求めて罪にふけるのです。天の父を見上げて慰めを求めるのではなく、私たちは神から逃げて、この世を這う無秩序な神が私たちに差し出すものを受け取るのです。そして私たちはそれが気に入っています！私たちの周りの世俗性を見つめて喜ぶのです。

私たちは皆サタンの騙しのトリックに向かい、皆が抱えている痛みにうまく対処することができるのです。

この場の何が問題なのでしょうか？ホラー映画に出てくる邪悪な楽しい家のようなものです。これは私たちが住んでいる堕落した世界です！見えませんか？

もし見えないのであれば、あなたはあまりにも快適で、それに慣れすぎているのです。あなたは目を閉じてしまっているのかもしれません。
しかし、目を開いて、あなたが関わっている悪魔のような妄想を超えて見てください。

コリント人への第二の手紙 11:14-15 によると、サタンとその奉仕者たちもここで変容し、彼ら自身が義の奉仕者となるといわれています。

これらの奉仕者、人間哲学、空虚な宗教、スピリチュアリズム、幸福の科学主義に騙されないでください。グノーシス主義のように、それらはすべて消え去ります。

どれもうまくいきません。それはただの妄想です。なぜなら、それらのものはどれも私たちの住んでいる世界を正すことはできないからです。

この世は壊れています。いいえ、実際にはすべての創造物が壊れています。私たちも含めて、そして私たちの子供たちとその子供たち、そして次世代、そしてその後に続く人々も同様です。

しかし、現実的な質問を自分自身に問いかけてください。このメッセージを聞いている私たちの世代にひ孫が生まれる前に世界を正すことはできるでしょうか？

疑わしいですね…私たちの曾孫はどうでしょう。私たちのほとんどは彼らに会う機会さえないでしょう。こちらも無理でしょう。私たちは何ができるでしょうか？

コロサイ教会とそこにいた 1 世紀の人々を見ると、彼らはわかっていました。彼らは世を正す救世主を探していたのです。
そして歴史が彼らにそのための準備を整えさせていたのです。

歴史は私たちがどこに向かっているのかを教えてくれる

当時の人々は単一の帝国、単一世界政府の下にあり、すべてはアウグストゥス・シーザーから始まりました。彼はローマ帝国を創設し、初代皇帝となりました。
アウグストゥスが皇帝になる前にも、彼に関する「福音」があったことをご存知ですか。それはトルコで石に記録され書かれたもので、プリエネ暦碑文と呼ばれます。

そして、アウグストゥスについてのこの福音書は、プロビデンスと呼ばれる彼らの神が息子アウグストゥス・シーザーを彼らの救世主として、彼らの生活を整え、繁栄と平和を創造するために送ったとして広められました。

彼はそれを達成しましたか？また別のシーザーがやって来て、さらに数人のシーザーがやって来ましたが、数年以内に変わり、それぞれが以前よりも悪化しています。何も改善されませんでした！誰も彼らを救えず、シーザー家はそのたびに世界をさらに混乱させました。

その頃には、イスラエル人が王に対してしたのと同じように、民もそれを理解していました。正してくれる人は誰もいなかったのです。宇宙の創造主が来ない限り。

そしてそのお方は来られました。世界が正されるという彼らの夢は現実になりました。なぜなら彼らは本当の神の御子が来られたことを聞いたからです。

ポールの説明

「[19] 神は、御心のままに満ち溢れるものを余すところなく御子の内に宿らせ [20] その十字架の血によって平和を造り地にあるものも天にあるものも万物を御子によってご自分と和解させてくださったのです。」

20節は、神の平和が神の十字架の血によってもたらされることを説明しています。つまり世界の回復は上から下への命令ではなく、信じるすべての人にとって下層から上に向かって始まるということです。すべての被造物の贖い、つまり最初に贖われ始める目に見えない一つの単位は、目に見えるものではなく、目に見えないものである。原子ではなく、私たち、私たちの心から始まるのです！

聖書によれば、彼らの心を信仰によって清め、私たちと彼らとの間に何の差別もしませんでした。（使徒15:9）

創世記の天地がひっくり返りました。
創造の最後の日に創造された人間は、今では順番の第一位です。キリストはすべての人の上に長子です。それは彼から始まりました。後の人で先になる者があり、先の人で後になる者もあるのです。
こうして、私たちはキリストに似た者となり、霊的であると同時に肉体的であり、目に見えると同時に目に見えない体を持つのです。（ヨハネ第一 3:2）

救いは今、ここ、あなたの中で始まります。これは私たちが待ち望んでいた瞬間です。
私たちと神との間に平和が訪れました。
人生の混乱、困難、痛み、病気、そして死、すべての罪に対する罰がやって来ます。
そして私たちには永遠の命と新しい心が与えられます。
これが、救いが心の問題である理由です。

「口でイエスは主であると告白し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10:9）

それは、イエスが地上に人として誕生し、十字架上で人として死んだことを通してなされます。そして、彼は死から復活し、王としてすべての被造物の上に座します。これを信じれば、救われるのです。

しかし、それがすでに始まっているのであれば、なぜまだ問題が起こるのでしょうか？　つまり、私たちは救われているのに、なぜ私たちはこの人生でまだ苦しんでいるのでしょうか？

2つの質問に答えることで、それに答えましょう。
1. 私たちは今何をすべきか？
2. 次に何が来るのか？
まず、最後の質問に答えさせてください。

回答

次は何が起こるのか？
黙示録 13 章で説明されているように、世界はかつてのローマ帝国のような時代に戻りつつあります。統治者が現れ、彼は初代ローマ皇帝のような存在になるでしょう。彼は神として宣言され、崇拝され、すべての国を支配するでしょう。そして教会への迫害が始まります。

しかし、神の子、私たちの救い主は戻ってきます。

そしてペトロが説明しているように、その後、すべての創造物と全宇宙の終わりが来るでしょう。
「神の日の来るのを待ち望み、それが来るのを早めなさい。その日には、天は燃え尽き、自然界の諸要素は火で溶け去ってしまいます。」(ペトロ第二 3:12)

そして、新しい天と新しい地が現れるまで、すべてのものは回復されません。

今、私たちは何をすべきなのか？

私たちはキリストの大使であり、キリストの御国の到来を告げ知らせるとともに、キリストの御国の文化を分かち合うのです。クリスチャンの文化はこの世のものではありません。

新しいものであり、この世の汚れとは混ざり合っていないのです。

それは神から出たものであり、神が私たちに分かち合ってくださった愛です。

世界中の人々が希望と復興を必要としています。彼らは人生で苦しんでいます！なぜ良い知らせを控えることができるでしょうか？彼らに対する善意を抑えることができますか？

さて、最後の質問ですが、なぜ私たちは今も苦しんでいるのでしょうか？

なぜなら、全体像を見逃しているからです。そしてこれはパウロが言いたいことでもあるのです。
あなたが苦しんでいるのは、この汚れた世の中で、目に見えるものだけを信頼していて、イエスを見つめていないからです！

世界はまだ完全には新しくなっていないことを知らなければなりません。そして、多くの場合、私たちが今世界で目にしているもの、必要だと考えているものを止めなければなりません。

私たちは神にではなく、物や不道徳なことに望みを置いています。

神が決めた物事の順序があり、起こるべき出来事があります。それは私たちにとって謎です。
しかし、神が栄光をもたらすわけですから、私たちは神を信頼しなければならないのです。
そして主の日は必ず来ます。それが私たちの希望です。

さて、それが今日の私と何の関係があるのかと疑問に思うかもしれません。どうやって私の助けになるのか…私の人生の葛藤に、私が遭遇する困難に、私が犯した失敗に。

なぜ思い通りにいかないのでしょうか？

ステパノ
ステパノから学びましょう。**使徒 6－7** では、ステパノが 12 人によって最初の執事に選ばれた後ります。そして彼は信仰と力に満ちていたと書かれています。彼は人々の間に奇跡を起こしさえしました。彼にとって状況は好転しつつあったのです。

しかし、彼はこのすべての良いことを行い、イエスについて教えている間に、いくつかの困難に遭遇しました。彼は神を冒涜したということで、突然ユダヤ人たちに捕らえられ、ユダヤ教評議会による尋問を受けることになりました。

ステパノはユダヤ教徒に対し裏切り者、殺人者、法律違反者であり、聖なるものに抵抗していると指摘し、イエス・キリストに抵抗することによって聖霊を拒んでいると言いました。

それを聞いて、彼らは非常に怒り、正気を失いました。そこで、ステパノは怒った群衆に直面していました。彼は石打ちの刑に処せられる直前であることに気付きました。

その瞬間の苦難について、本文は私たちに次のように教えています。
ステパノは直面している状況を見ていませんでした。彼は何が起こるかについて心配しませんでした。彼は人々と争うことはありませんでした。彼は興奮することもありませんでした。

代わりに聖書で言っています。「ステファノは聖霊に満たされ、天を見つめ、神の栄光と神の右に立っておられるイエスとを見て」（使徒 7:55）

これは私たちすべてが見習うべきです。
私たちがたとえ何を経験していても、困難に直面していても、イエスを見つめていてください。イエスはあなたのすぐそばにいます。神は私たちと同じように苦しみを知っていて、それを感じていました。物事がうまくいかないときイエスを見つめてください。
神は私たちの心を修復だけではありません。なぜなら、もしそれが私たち自身と私たちの心だけの問題だとしたら、私たちはまだ、私たちの周りにある堕落した被造物に対処する必要があるからです。
いいえ、神の計画は、すべてを修復し、私たちが何よりも神のようになれるようにすることです。
最初のものが最後になり、最後のものが最初になるという意味がおわかりでしょうか。

覚えておいてください、神が最初に回復させようとしているのは私たちの傷ついた心です。まず初めに御子の血によって御子と和解することです。あなたの心は主と戦っています。神との平和を持ちましょう。

神との平和を望み、神から逃げるのを止めたいと思いませんか？

神との平和を望み、希望のもとに修復したいのであれば、イエスを見つめて、信仰を持ってください。彼は私たちに遣わされたお方であり、救うことができる唯一のお方です。神が創造されたゆえにあなたを治すことができ、世界をも回復してくれるでしょう。
主の御名を呼び求める者は皆救われるからです！

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1324jp

★クラス 210
スモールグループについて学ぼう
4 月 14 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

★クラス 301
自分の賜物を発見しよう
4 月 27 日（土）1:30pm - 5:30pm
参加条件: クラス 201 まで修了した方

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター
月 2～各礼拝の時間帯 1 スポットの日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1, 2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4. 日本語訳レイアウト&印刷（女性募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org